

NUX

DM-8 DIGITAL DRUM



取扱説明書

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。



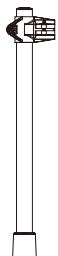
- ・**異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・**濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・**内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・**分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。



- ・**高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・**乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・**強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・**ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・**対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ユニット

①



左ストレート
チューブ 650 × 1

②



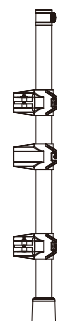
右ストレート
チューブ 650 × 1

③



左ストレート
チューブ 800 × 1

④



右ストレート
チューブ 800 × 1

⑤



左カーブ
チューブ 650 × 1

⑥



右カーブ
チューブ 650 × 1

⑦



トップカーブ
チューブ 750 × 1

⑧



ボトムカーブ
チューブ 750 × 1

⑨



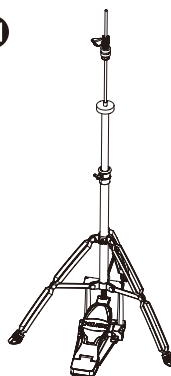
シンバルブームアーム × 3

⑩



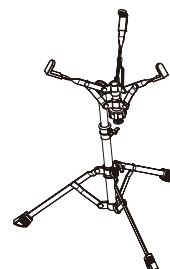
タムホルダー × 3

⑪



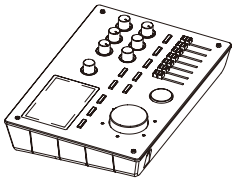
ハイハットスタンド × 1

⑫



スネアスタンド × 1

13



音源モジュール× 1

14



NCY-12
12" シンバル× 2

15



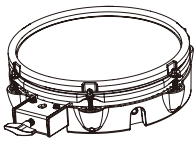
NRC-14C
14" シンバル× 1

16



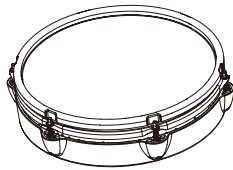
ハイハット
シンバル× 1

17



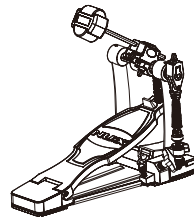
10" メッシュドラム
パッド× 3

18



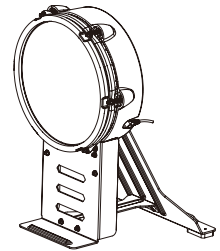
12" メッシュドラム
パッド× 1

19



キックペダル× 1

20



キックドラム× 1

21



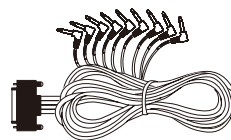
ハイハット
コントロール× 1

22



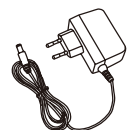
ケーブル
ロック× 6

23



ケーブル× 1

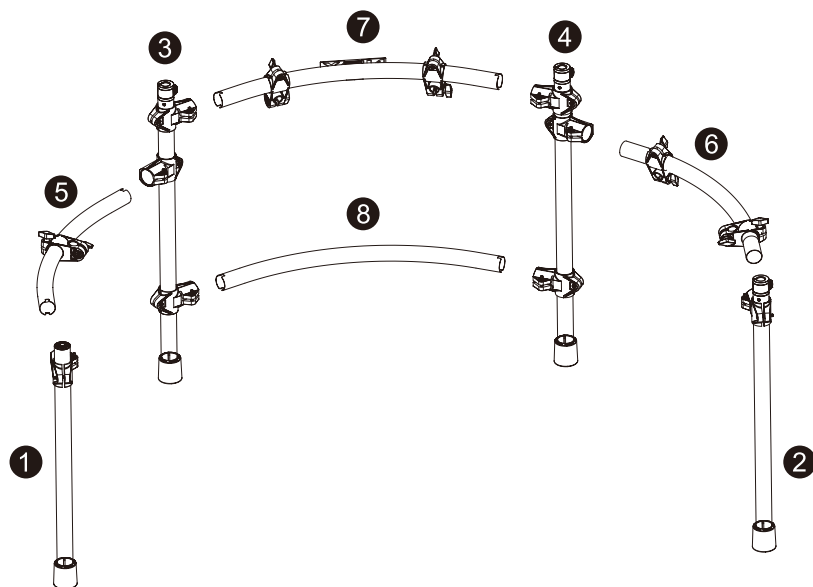
24



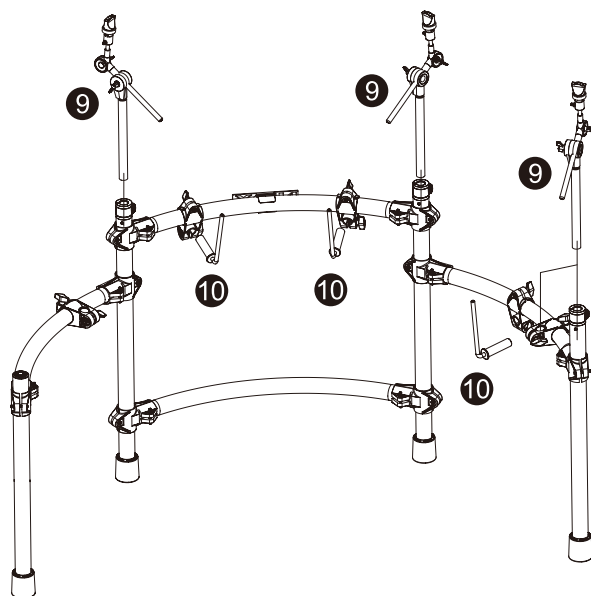
電源アダプター× 1

組み立て

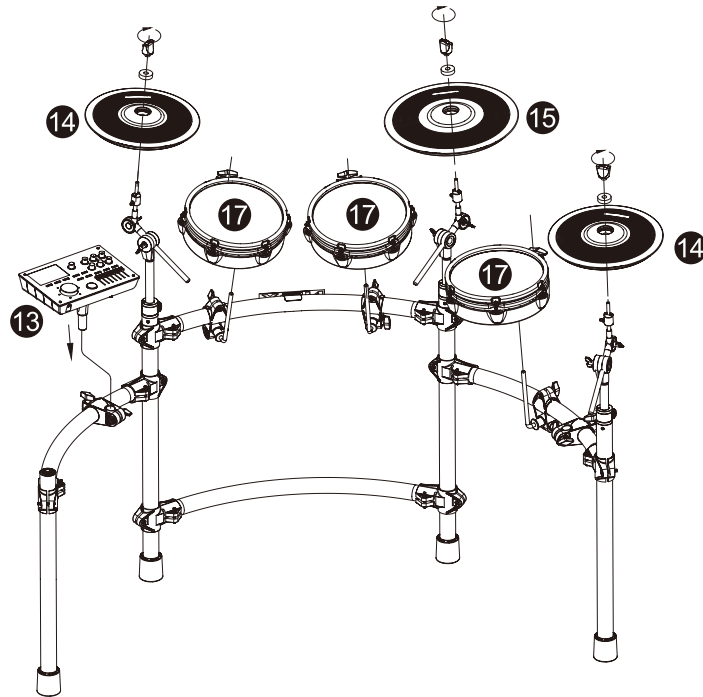
1. ドラムラックの組み立て



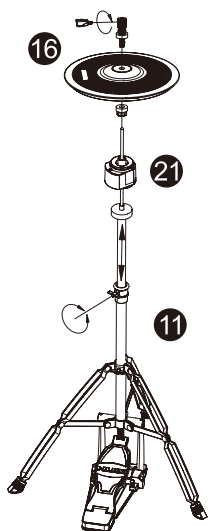
2. シンバルアームとドラムホルダーの組み立て



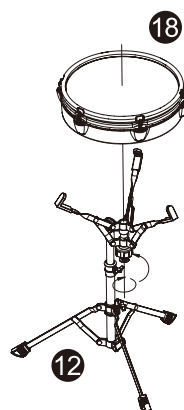
3. ドラムパッドとシンバルの取付け



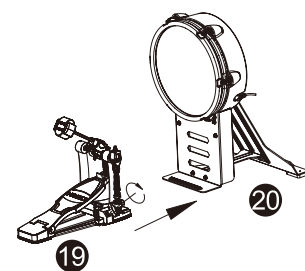
4. ハイハット・スネア・キックの取付け



ハイハットの組み立て

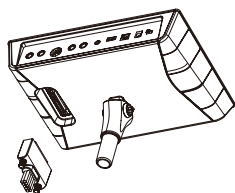


スネアの取付け

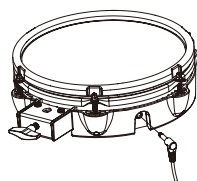


キックとキックペダルの取付け

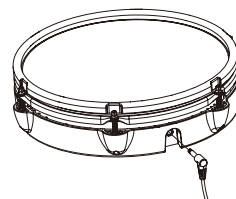
5. ケーブルの接続



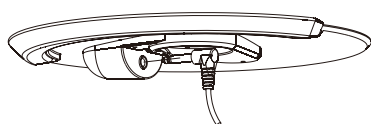
音源モジュール



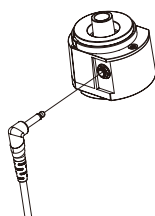
タム



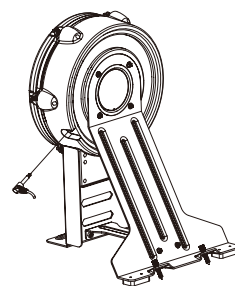
スネア



シンバル

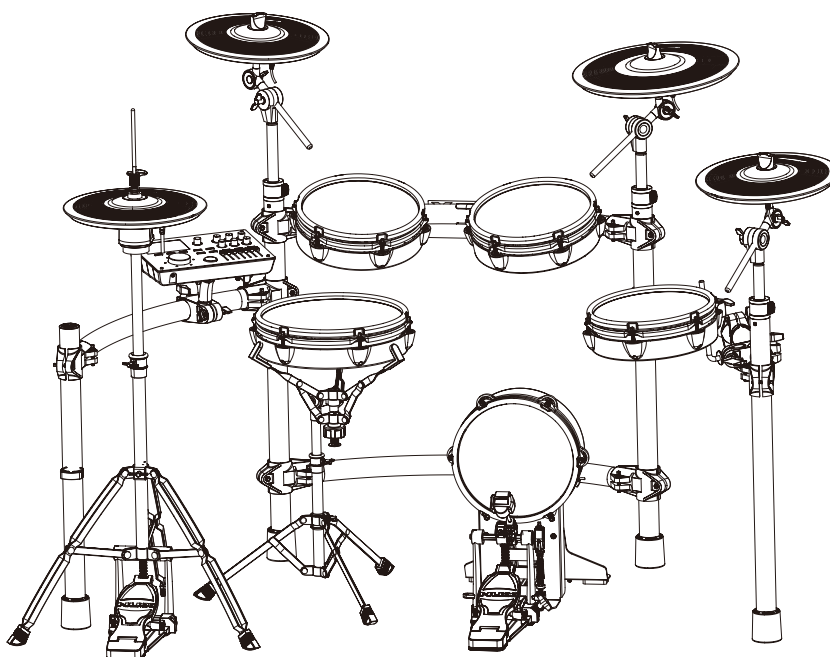


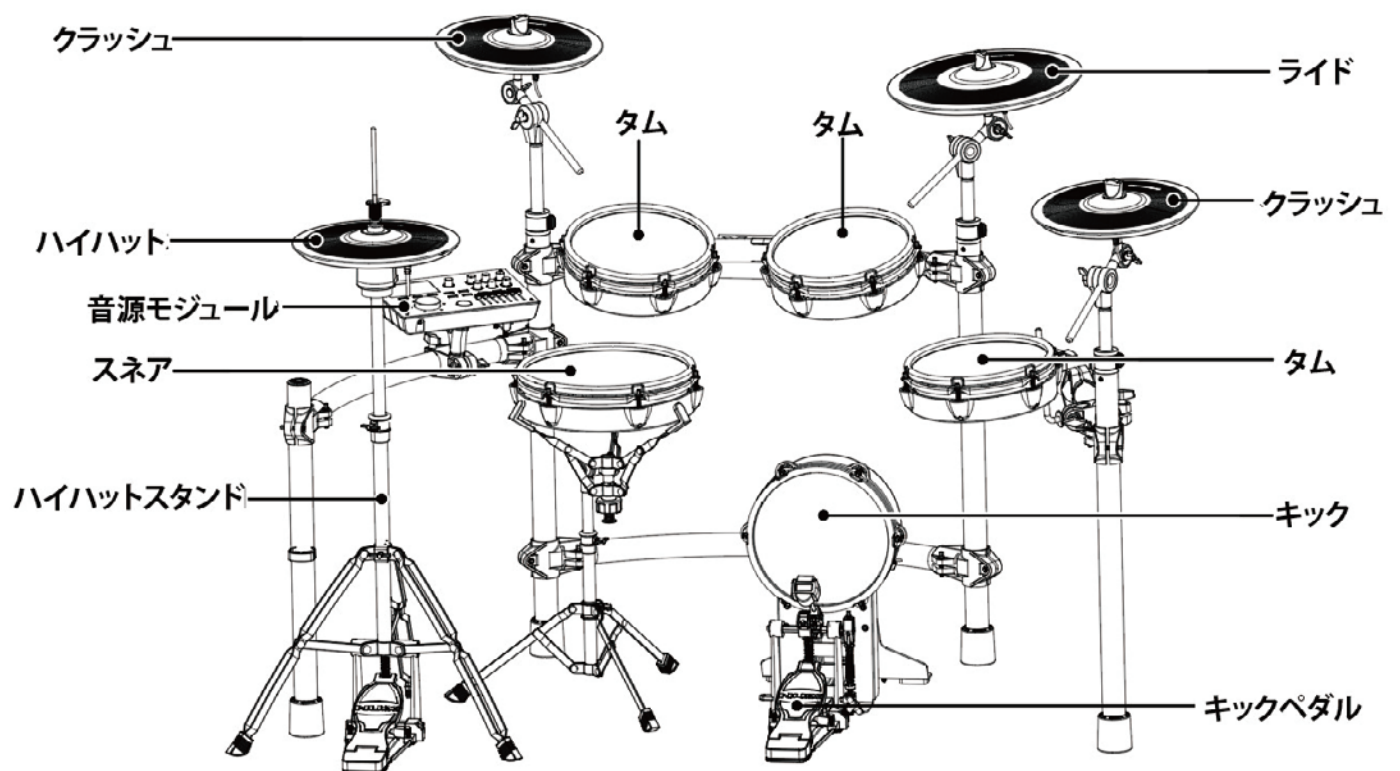
ハイハットコントロール



キック

6. 準備完了！





コントロールパネル

フロントパネル.....	11
トップパネル	12

外部オーディオ等の接続	13
-------------------	----

ディスプレイに関して	14
------------------	----

演奏準備

電源 On/Off	15
DM-8 の使用方法	16

ドラムキットの設定方法

ドラムキットの切り替え	19
ドラムキットサウンドの設定	19
ドラムパッドサウンドの設定	19
グループフェーダー.....	19
ソング機能操作.....	20
録音する.....	21
コーチ機能.....	23

システムメニュー操作

ハイハット設定.....	27
クリック.....	25
エフェクト	26
ソング	29
トリガー.....	29
パンニング	30
キット名.....	31
Wav ファイル	31
出力系統.....	32
MIDI ノート情報	33
FACTORY RESET（出荷時の設定に戻す）	33
オプション.....	34
USB AUDIO/USB MIDI.....	34

MIDI リスト	35
----------------	----

技術仕様.....	36
-----------	----

フロントパネル



① ディスプレイ

DM-8 の操作情報を表示します

② オペレーションボタンの表示

パラメーターボタンを表示してその表示内容にしたがって操作します

③ ドラムセットスイッチングダイヤル

ドラム全体の音色を一度に変更する際に使います

④ TEMPO

メトロノームのテンポを簡単に調整可能なノブです

⑤ SONGLIST

ソングを選択するノブです

⑥ SONG VOL

ソングの音量を調整するノブです

⑦ CLICK

メトロノームのオン/オフボタンです

⑧ USB SONG

USB 上のミュージック選択操作を行ったり、操作を止めるボタンです、このボタンは USB が接続された時にのみ有効です

⑨ DRUM OFF

内蔵デモソングのドラムトラックをオンにしたりオフにします

⑩ ENTER、KICK/SNARE

決定ボタン、もしくは KICK/SNARE の音色選択に瞬時にアクセスするボタンです

⑪ INSTRUMENT

パラメーターの調整ノブです

⑫ TOM/CYMBAL

タム / シンバルの音色選択に瞬時にアクセスするボタンです

コントロールパネル

⑬ AUX

外部から入力した音源の音量を調節するノブです

⑭ PHONE

ヘッドホンの音量を調節するノブです

⑮ MASTER

外部出力の音量を調整するノブです

⑯ 3.5mm Output

ヘッドホン入力端子です

⑰ REC

USB 使用時のみ録音ボタンとして機能します

⑱ PREVIEW

サウンドプレビュー用のボタンです

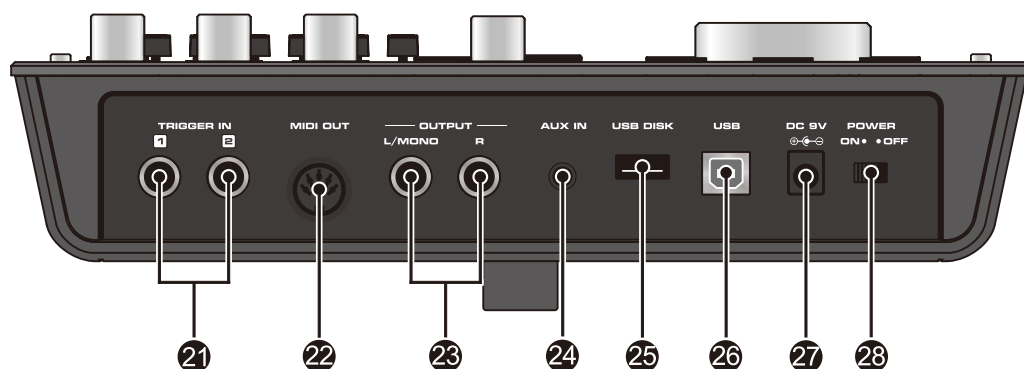
⑲ PLAY/STOP

再生及び一時停止ボタンです

⑳ GROUP FADER

各楽器の音量調整が可能な操作端子です

トップパネル



⑳ TRIGGER IN 1,2

拡張用端子です

㉑ MIDI OUT

MIDI OUT 端子です

㉒ OUTPUT L/MONO, R

DM-8 を外部のオーディオ機器で鳴らす際に
使います
モノラル出力の場合は L/MONO をお使い下
さい

㉓ AUX IN

MP3、スマートフォン、CD プレイヤー等の
外部オーディオ機器を接続します

㉔ USB DISK

USB メモリー端子です

㉕ USB

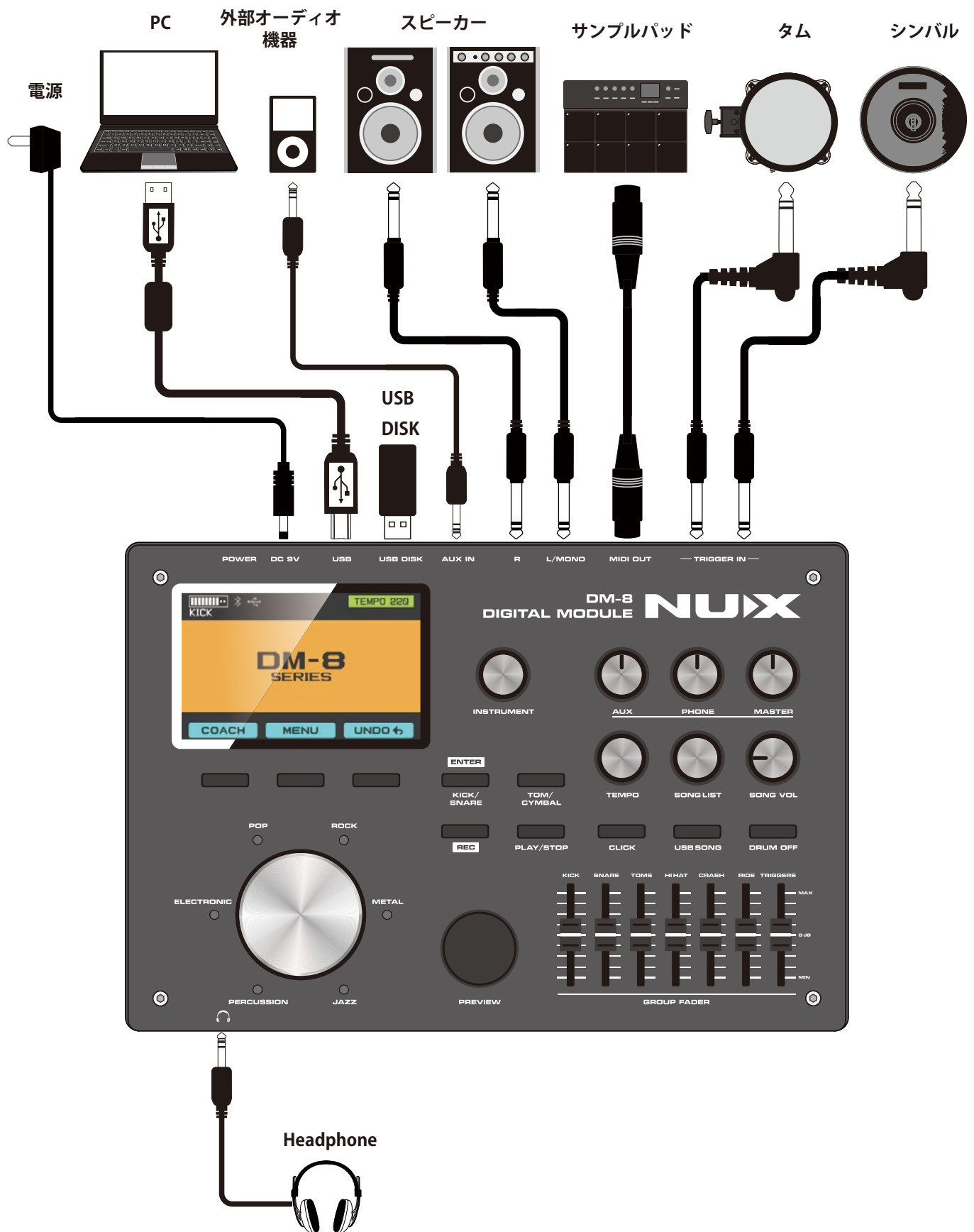
DM-8 を PC に接続する USB 端子です

㉖ DC-9V

9V 電源アダプター入力端子です

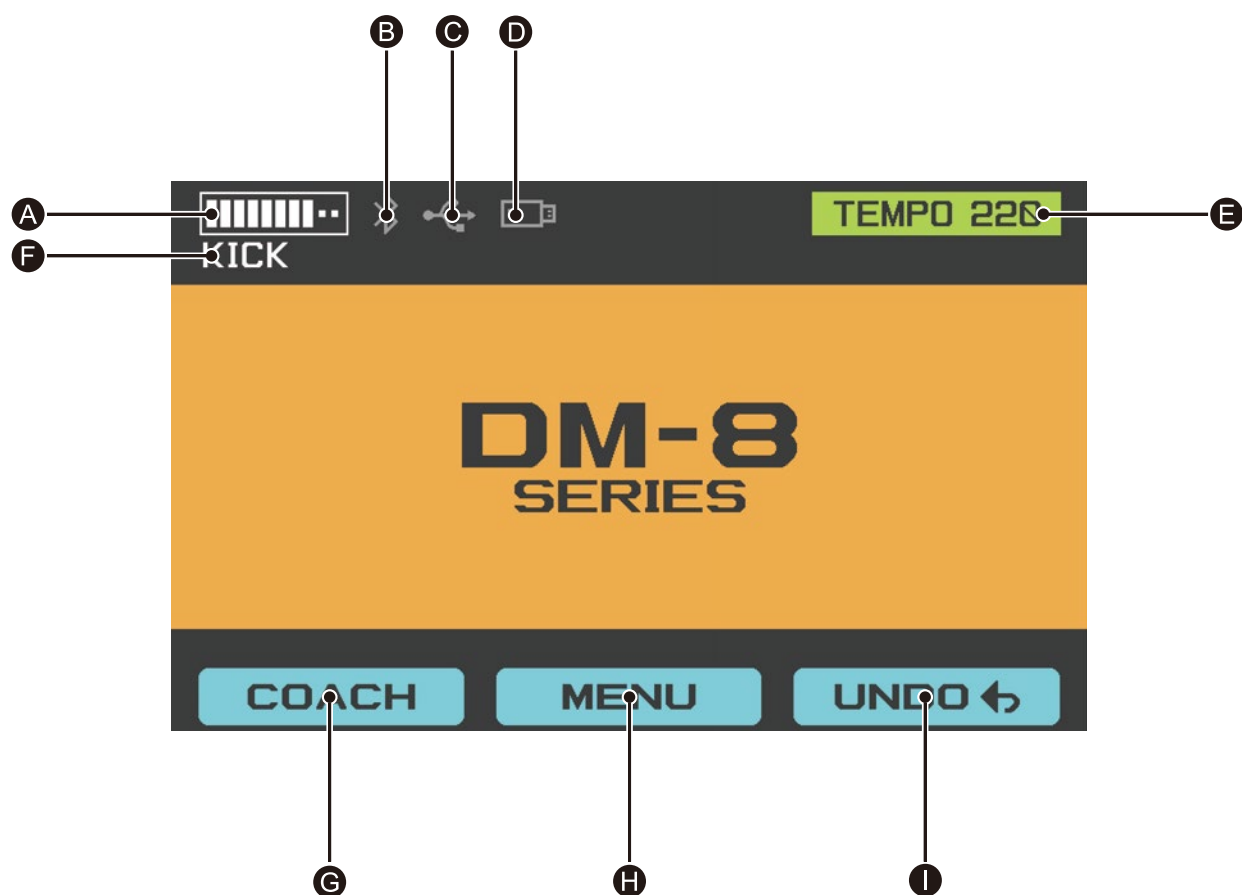
㉗ POWER

電源スイッチです



警告

機器へのダメージを避けるためにも、DM-8 の電源を入れる際や他の機器に接続する際には、DM-8 側のボリュームを絞ってください。



A 10段階表示

B Bluetooth® アイコン

C USB 接続アイコン

D USB メモリーアイコン

E メトロノームテンポ表示

F 演奏中のパッド

G コーチ機能

H メニュー機能

I アンドゥ

電源のオン／オフ

電源を入れる

1. マスターボリュームを下げます。
2. スピーカーのボリュームを下げます。
3. 電源を入れます。



電源を切る

1. スピーカーのボリュームを下げます。
2. 電源を切ります。

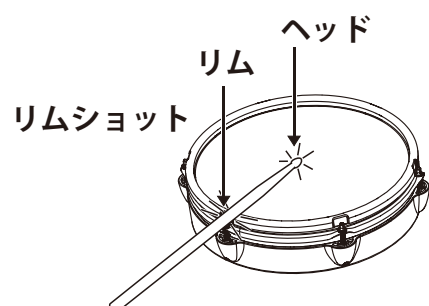
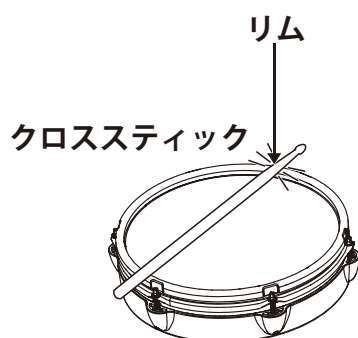
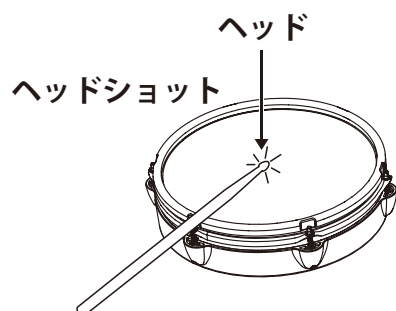


電源投入時のディスプレイ表示

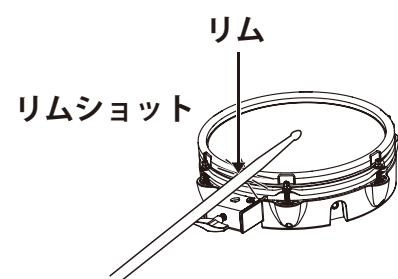
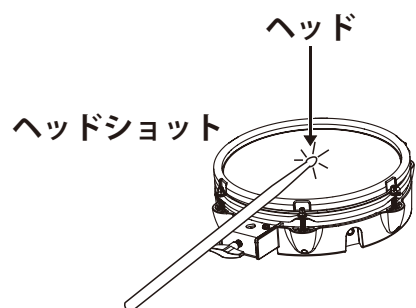
電源投入時に微弱なサウンドが発生する場合がありますが、問題なくお使い頂けます。

DM-8 の演奏方法

スネア

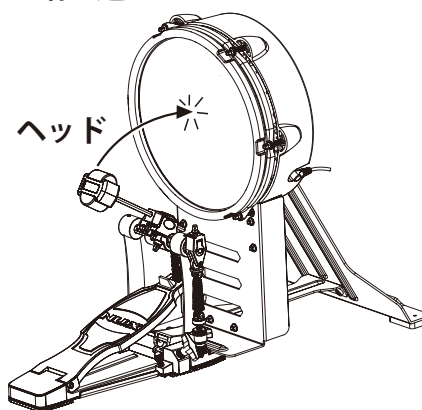


タム



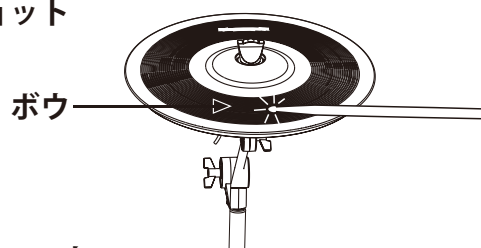
キック

バスドラムを踏み込む

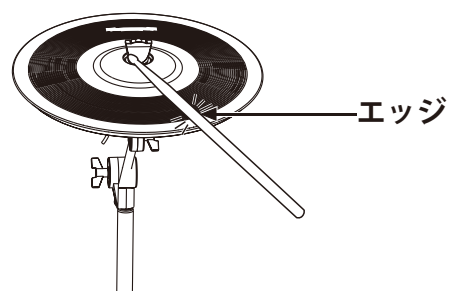


クラッシュ

ボウショット

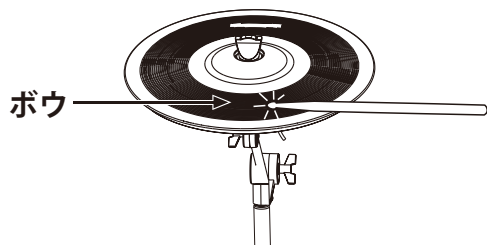


エッジショット

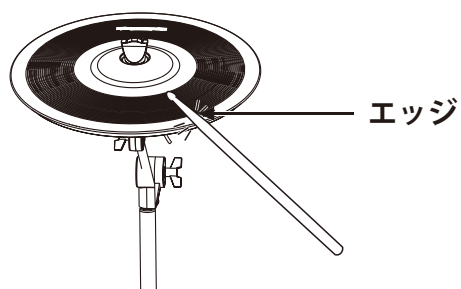


ライド

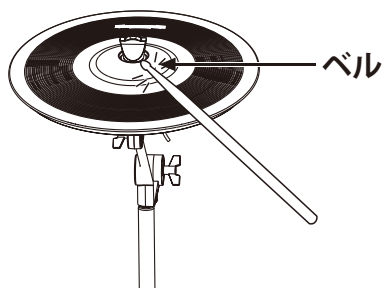
ボウショット



エッジショット



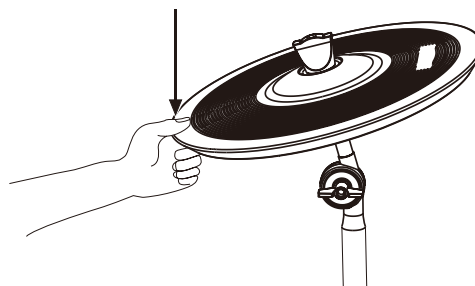
ベルショット



シンバルのチョーキング

通常のシンバルと同様に、シンバルを叩いた直後に手でシンバルの端を掴むことでシンバルの音をミュートしたりするチョーキングが可能です。このチョーク奏法は必ず下記のエリアを掴んでください。

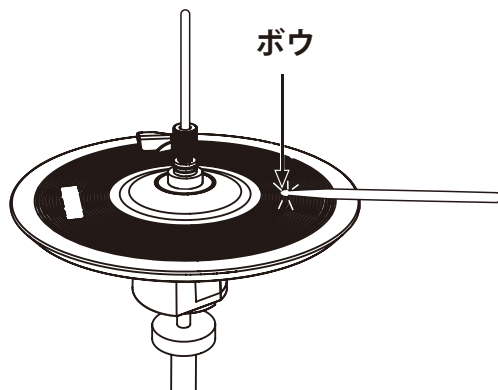
チョーキングゾーン



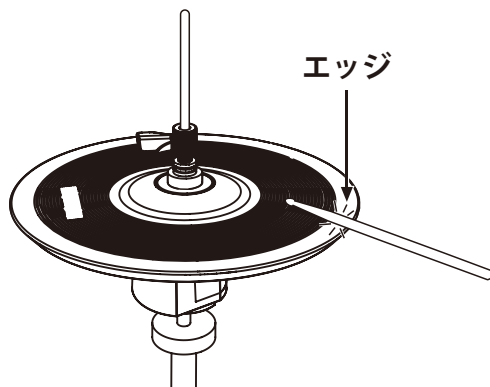
ハイハット

オープン／クローズ

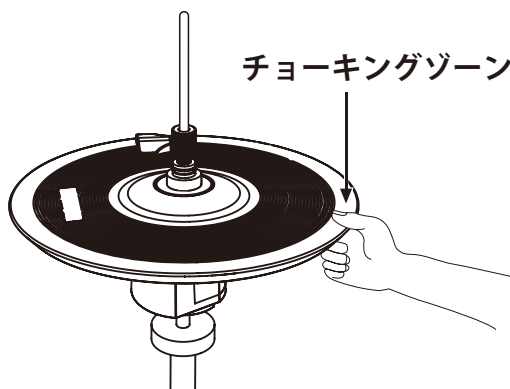
ハイハットのサウンドはオープンとクローズドで変化します。サウンドの変化は、ペダルを踏み込む深さやシンバルを叩く力の加減でさらに変化が付けられます。



エッジショット



チョーキングゾーン



シンバルのチョーキング

通常のシンバルと同様に、シンバルを叩いた直後に手でシンバルの端を掴むことでシンバルの音をミュートしたりするチョーキングが可能です。このチョーク奏法は必ず下記のエリアを掴んでください。

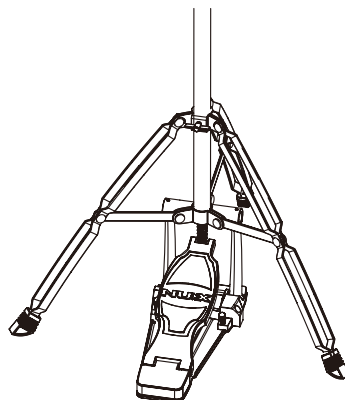
ハイハットコントロールペダル

オープンハイハット

ペダルを踏まずにハイハットを叩きます。

クローズドハイハット

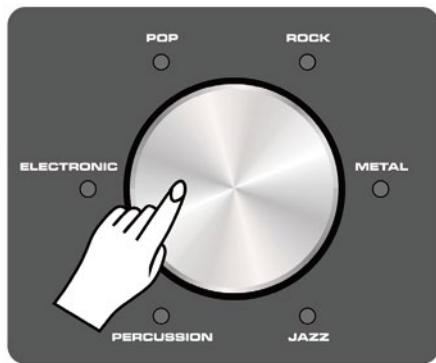
ペダルを踏んでハイハットを叩きます。



ドラムキットの切り替え

電源投入してドラムキットモードに入る

1. ドラムキットのスタイルを選ぶにはセレクトターを使います。セレクトターボタンを押して、該当するスタイルが選択されていることを確認します。別のキットを選ぶのも同様です。



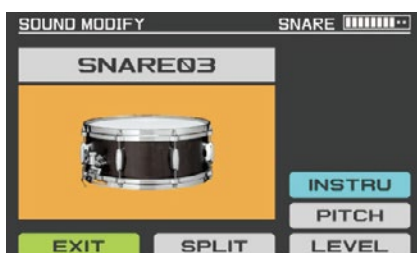
2. どのモードでもセレクトターを回すことで、ドラムキットの変更が可能です。

ドラムキットサウンドの設定

1. ドラムキットセレクトターを使い編集したいドラムキットを選択します。
2. 下記の何れかのボタンを使って編集モードに入ります。



3. パッドを選択するか、KICK/SNARE もしくは TOM/CYMBAL ボタンを押します。



ドラムパッドサウンドの設定

1. サウンド編集モードで、編集したいパラメーターのボタンを選びます。



2. ディスプレイ下のボタンで編集したいパラメーターのボタンを選びます。
3. INSTRUMENT ノブを使ってパラメーターを調整します。
4. PREVIEW ボタンを使って、編集したサウンドの確認ができます。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
INSTRU		パッドトーンを選択
PITCH	-32~+32	トーンピッチの調整
LEVEL	0~127	パッド音量の調整
SPLIT		SPLIT ボタンを押して、各パッドの rim/head のサウンドは個別に設定する事が出来ます。 Snare : ヘッド、リム Tom : ヘッド、リム Hi hat : ヘッド、リム Crash : ボウ、エッジ Ride : ボウ、エッジ、リム

グループフェーダー

DM-8 は、各ドラムパートの出力レベルをリアルタイムで出力できます。パネル上のフェーダーを使って好みの出力バランスに調整が可能です。



ドラムキットの操作

Song 機能を使う

USB メモリーを使用しない場合

1.SONG LIST ノブを回して SONG モードに入ります。



2. このモードでは、ディスプレイ部の右下のボタンを押して再生させるか PLAY/STOP ボタンを押して再生／一時停止を行います。



3.DRUM OFF ボタンを押すと、曲中のドラムをミュートさせたり、再生させたりすることが可能です。(この機能は内蔵ソング限定です。)



USB メモリーを使用する場合

1. 音源モジュールに USB メモリーを接続すると、USB メモリーのアイコンが点灯します。



2.SONG LIST ノブを回して、SONG モードに入ります。その後 USB SONGS ボタンを押して、USB SONGS モードに入ります。

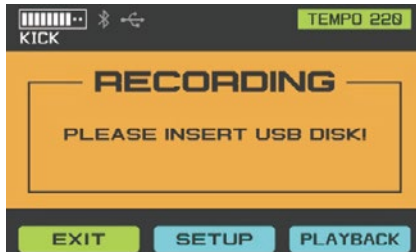


3.USB SONGS モードでは、USB メモリーに入っているソングをディスプレイ部の右下のボタンを押して再生させるか PLAY/STOP ボタンを押して再生させたり一時停止させたりします。

Note:WAV(.wav 44.1kHz/16bit) と MIDI フォーマットのみ再生可能です。この機能を使ってソング再生する場合は、“SONG” というフォルダーを USB メモリーに作成して、再生したいソングをこのフォルダーに置いてください。曲名はアルファベット表記のみ対応しています。

録音する

※この機能は USB メモリー接続時のみ使用可能です。USB メモリーを接続しない状態で REC ボタンを押すと、以下のメッセージが表示されます。



1.USB メモリーを接続後に、REC ボタンを押すことで、レコーディングモードに入ります。



2.再度 REC ボタンを押すことでレコーディングが開始されます。



3. レコーディングを終了するには STOP ボタンを押します。終了後に PLAY ボタンを押すと録音したソングを再生します。曲の途中でも SAVE ボタンを押すことで USB メモリーに曲を保存できます。

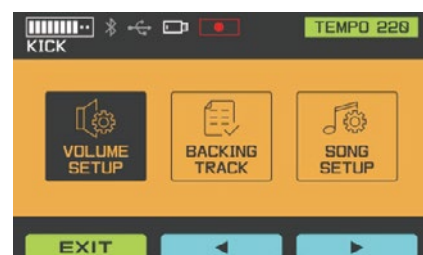
(レコーディングは 44.1kHz/16bit フォーマットです。)



もし、下記のメッセージが表示された場合には、USB メモリー内容容量空きが無いいため、USB メモリー内の不要なファイルを削除して再度お試しください。



4. レコーディングモードの主要メニューにある SET UP を押して、レコーディング設定のモードに入ります。変更したいオプションを選んで ENTER ボタンを押して下さい。



ドラムキットの操作

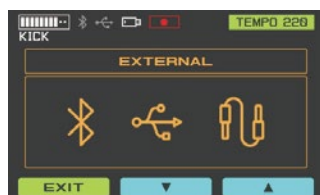
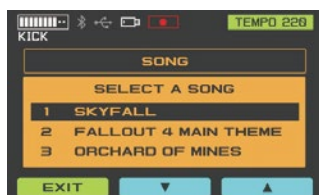
●ボリューム設定

レコーディングモードではバックグラウンドミュージックとドラムサウンドの音量バランスを調整可能です。



●バックイングトラック

レコーディングモードで再生したい曲を選択できます。曲の選択中に、USB SONG ボタンを押すことで内蔵の曲と USB メモリー内の曲を切り替えることが可能です。



●ソング設定

曲再生の様々なパラメーターを調整します。このパラメーター調整はレコーディング内容に対して影響があります。



パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
DRUM OFF	ON/OFF	曲中のドラム音をミュートまたは有効にする
CYCLE PLAY	ON/OFF	曲の再生をオン／オフする
BACK VOLUME	0~127	曲の音量調整
DRUM VOLUME	0~127	ドラムの音量調整

コーチ機能

1. DRUMKIT のメニューで、COACH をクリックするとコーチ機能が調始されます。



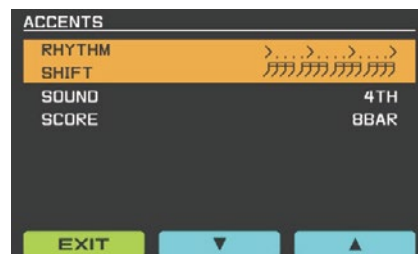
2. ▲もしくは▼のカーソルで使いたい機能を選択して、ENTER を押してそのモードに入ります。



2. 練習後は、自動的に得点画面に切り替わり練習結果が表示されます。（再度練習する場合は、START を押してください。）



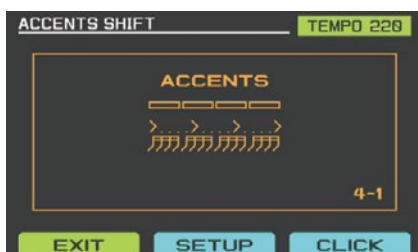
3. SET UP をクリックして設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



アクセントシフト

このモードではアクセント移動の練習ができます。

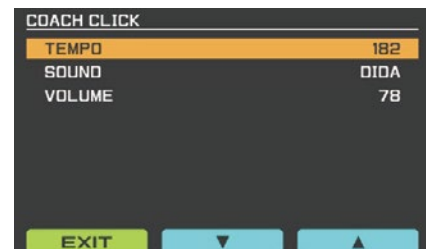
1. このモードをスタートすると、最初に 4 カウントが始まり、練習が始まります。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
RHYTHM SHIFT	8 th \Triplet\16 th	アクセントタイプの切り替え
SOUND	FULL4 th \ACCENT\QUEIT	サウンドの切り替え
SCORE	OFF\4bar\8bar\16bar\32bar	得点モードの切り替え

4. CLICK をクリックして設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
TEMP	40~280	スピードの調整
SOUND		メトロノームの音色
VOLUME	0~127	ボリュームの切り替え

ドラムキットの操作

タイムチェック

このモードでは正確にパッド叩く練習をすることが可能です。

1. このモードをスタートすると、最初に 4 カウントが始まり、その後にタイムチェックの練習が始まります。



2. 練習後は、自動的に得点画面に切り替わり練習結果が表示されます。(再度練習する場合は、START を押してください。)



3. SET UP をクリックして設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



4. CLICK ボタンを押して設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



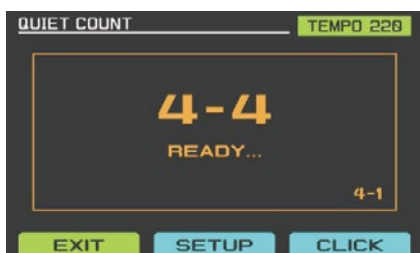
パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
TEMP	40~280	スピードの調整
BEAT	1~9	拍子の調整
RHYTHM	Triplet 4 th 8 th 16 th	リズムの切り替え
SOUND		メトロノームの音色
VOLUME	0~127	ボリュームの切り替え

パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
SCORE	OFF\4bar\8bar\16bar\32bar	得点モードの切り替え
DISPLAY 1	KICK\SNARE\TOMS\RIDE\CYMS\HIHAT	テストポジション 1
DISPLAY 2	KICK\SNARE\TOMS\RIDE\CYMS\HIHAT	テストポジション 2
GAUGE	LEFT AHEND\LEFT BEHIND	測定モードの切り替え

クワイエットカウント

このモードではタイム感を練習します。メトロノームが鳴る状況とならない状況が交互に繰り返されます。

1. このモードをスタートすると、最初に4カウントが始まり、その後にクワイエットカウントの練習が始まります。



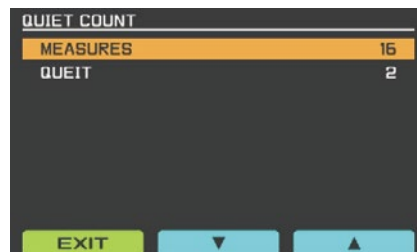
2. メトロノームがサイレント状態となり音が鳴らなくなります。



3. セッションが終了次第スコアが表示され、練習をそのまま継続できます。



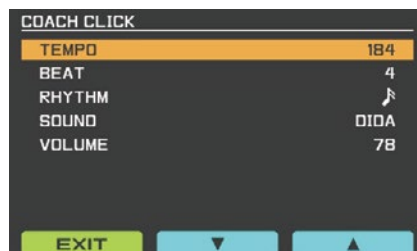
4. SET UP をクリックして設定画面に入ります。
▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
MEASURES	4\8\12\16	小節ごとの拍数
QUIET	1\2\4\8	サイレント状態の拍数

5. CLICK ボタンを押して設定画面に入ります。
▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
TEMP	40~280	スピードの調整
BEAT	1~9	拍子の調整
RHYTHM	Triplet\4 th \8 th \16 th	リズムの切り替え
SOUND		メトロノームの音色
VOLUME	0~127	ボリュームの切り替え

ドラムキットの操作

スピードアップ (CHANGE UP)

このモードでは、同じ拍子でテンポを上げていった時に正確に叩く練習が可能です。

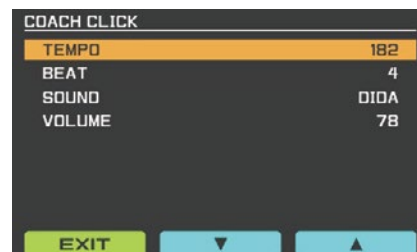
1. このモードをスタートすると、最初に 4 カウントが始まり、その後にスピードアップの練習が始まります。



2. このモードにはスコアがありません。SET UP をクリックして設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



3. CLICK ボタンを押してメトロノームの設定画面に入ります。▲もしくは▼キーを押して設定したい機能を選び、INSTRUMENT ノブで、パラメーターを調整します。



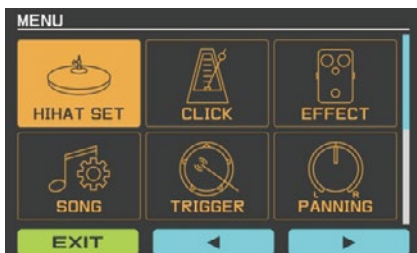
パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
TEMP	40~280	スピードの調整
BEAT	1~9	拍子の調整
SOUND		メトロノームの音色
VOLUME	0~127	ボリュームの切り替え

パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
DURATION	5\10\15\20 MINS	練習時間
CHANGE-UP	16th\5\6	音符の調整
MEASURES	1\2\4\8	拍子の調整

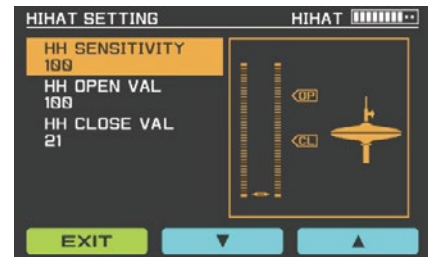
ディスプレイ下の MENU ボタンをクリックして◀と▶もしくは INSTRUMENT ノブで、調整したいパラメーターを選択します。その後、ENTER ボタンを押して確定させます。



システムメイン表示画面

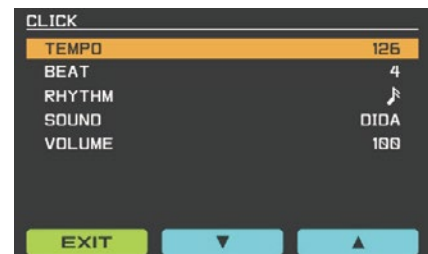


システムメイン設定画面



CLICK

- 1.MENU 画面で CLICK を選択して、ENTER を押します。
2. ▲と▼のキーを押して調整したいパラメーターを選択します。INSTRUMENT ノブでパラメーターの値を調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
TEMP	40~280	スピードの調整
BEAT	1~9	拍子の調整
RHYTHM	Triplet\4 th \8 th \16 th	音符の調整
SOUND		メトロノームの音色
VOLUME	0~127	ボリュームの切り替え

HI-HAT SET

HI-HAT SET を選択して、ENTER を押します。この画面では、HI-HAT のパラメーターを調整します。DM-8 では、HI-HAT のモードをクローズド、オープン、フルオープンの3つとしています。

HH SENSITIVITY は HI-HAT をオープンクローズした際の強弱を設定できます。低く設定するほどペダルを踏んだ時の強弱を表現しやすくなります。OP と CL の間隔は、ハーフオープンの状態で HH OPEN VAL と HH CLOSE VAL を調整する事で設定可能です。OP 以上ではフルオープンの状態で、CL より低い場合はクローズドの状態です。

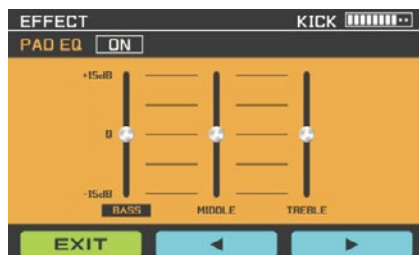
EFFECT

1. MENU 画面で EFFECT を選択して、ENTER を押します。
2. ◀と▶のキーを押すか、INSTRUMENT ノブを使って調整したいエフェクトを選択します。次に ENTER を押して該当するエフェクトの画面に入ります。
3. エフェクト設定の画面に入って、ENTER を押してエフェクトの ON と OFF を設定します。◀と▶のキーを押して調整したいパラメーターを選択し INSTRUMENT ノブを使ってパラメーターの値を調整します。



PAD EQ

各パッドの EQ を調整できます。



PAD COMP

PAD のコンプレッサー。各 PAD のコンプレッサーを調整します。



MASTER EQ

ドラムセット全体のマスター EQ を調整します。



MASTER COMP

マスターコンプレッサー。ドラムセット全体のマスターコンプレッサーを調整します。



OVER DRIVE

ドラムセット全体にオーバードライブをかけます。



REVERB

ドラムセット全体にリバーブをかけます。



SONG

- 1.MENU 画面の SONG を選択して、ENTER を押します。
- 2.▲と▼のキーを押して調整したいパラメーターを選択します。INSTRUMENT ノブでパラメーターの値を調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
DRUM OFF	ON/OFF	曲中のドラム音をミュートまたは有効にする
CYCLE PLAY	ON/OFF	曲の再生をオン/オフする
BACK VOLUME	0~127	曲の音量調整
DRUM VOLUME	0~127	ドラムの音量調整

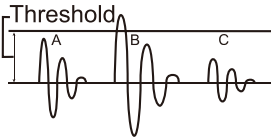
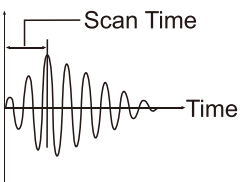
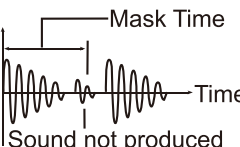

TRIGGER

- 1.MENU 画面の TRIGGER を選択して、ENTER を押します。
 - 2.PAD を叩いて調整したいPADを選択します。
 - 3.▲と▼のキーを押して調整したいパラメーターを選択します。INSTRUMENT ノブでパラメーターの値を調整します。
- *センシティビティが高い場合は、どんなにPADを弱めに叩いても、音は大きいままです。逆にセンシティビティが低い場合は、どんなにPADを強めに叩いても音は小さいままです。お好みのサウンドを出す為には、センシティビティの調整がポイントです。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
SENSITIVITY	1~99	ヘッドまたはボウの感度調整です。感度を高くすると、パッドを少し叩いただけでも大きな音が出ます。感度が低いと、どんなに強く叩いても音が小さくなります。お好みに合わせて感度を調節してください。

パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
THRESHOLD	1~99	ドラムのトリガーレベルを調整する
<p>右図のように、B波形が鳴り、AとCの波形は発生しません。 Note：設定値が高すぎると、軽く叩いた音は鳴りません。</p> 		
SCAN TIME	1MS~8MS	トリガー信号の検出時間を調整する
<p>セッティングの際は、強弱をつけて叩き、自然な音量変化を確認してください。 Note：設定値が大きすぎると発音時間が長くなります。できるだけ低めに設定してください。</p> 		
MASK TIME	4MS~64MS	トリガーの信号のマスク時間を調整する
<p>Note：高速で演奏する場合、値が高すぎるとトリガー信号がマスクされることがあるので、できるだけ値を下げてください。</p> 		
RETRIG CANCEL	0~99	トリガー信号のリピート値を調整する
		
XTALK CANCEL	0%~80%	クロストーク値を調整する
<p>演奏の際、実施には叩いていないパッドも鳴ることがあります。その場合は XTALK CANCEL のパラメーターを調整することで改善します。 Note：値が高く設定して2つのパッドを同時に叩いた場合、弱く叩いたパッドが鳴らない事があります。クロストークがない状態にした上でできるだけ値は小さく設定してみてください。</p>		
CURVE	LINEAR/EXP/LOG/LOUND	
RIM GAIN	1~99	ドラムのリムとシンバルのエッジにのみ有効なエッジゲインを調整する

パラメーター一覧		
パラメーター名	範囲	内容
RIM SHOT SENSITIVITY	1~99	リムショットの感度を調整する
HEAD RIM ADJUST	1~99	ヘッドとリム（ボウとエッジ）のバランスを調整する

Note：パラメーターの値はそのモードを抜けたときに自動的にセーブされます。

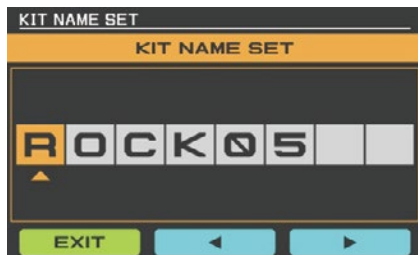
PANNING

- 1.MENU 画面の PANNING を選んでエンターを押します。
- 2.▲と▼のキーを押して PAD PANNING を選択します、もしくは調整したい PAD を該当する PAD を叩いて選択します。INSTRUMENT ノブでパラメーターの値を調整します。



キット名

1. DRUM KIT モードで、名称を変更したいドラムキットを選択します。
2. MENU をクリックして Menu 画面に入り、KIT NAME を選択してからドラムキットの名称を変更します。
3. ポジションを変更するのに◀と▶のキーを使い、INSTRUMENT ノブで文字を選びます。



WAV ファイル

※この機能は、外部 USB メモリーが接続されている時のみ有効です。この機能で WAV ファイルを読み込んだり削除します。

Note: まずはじめに US8 メモリーに "WAVIMPORT" という名称のフォルダーを作成して下さい。次に、ファイル名を英語にします。その後、WAV ファイルを "WAVIMPORT" フォルダーに置きます。以下の点にご注意下さい。

1. 最大インポート可能なファイル数は 100 までです。
2. 最大のトータルサイズは 100M までです。
3. 各ファイルの長さは 20 秒までです。
4. サポートされているファイル形式は .wav 44.1kHz/16bit です。

1. ディスクに接続後、MENU 画面で WAV FILES を選択して WAV 設定の画面に入ります。
2. INSTRUMENT ノブか◀と▶キーを使って設定したいモードを選択して ENTER でそのモードに入ります。



● IMPORT A WAV

この機能は USB メモリーから一つの WAV ファイルを読み込みます。



インポート後は、ドラムパッドサウンドの設定機能に取り込んだサウンドが見えるようになり、そのサウンドを任意のパッドに設定できます。



システムメニューの操作

● IMPORT ALL WAV

この機能は WAVIMPORT フォルダにある全ての WAV ファイルを USB メモリーからモジュールに一度にインポートします。



インポート後は、ドラムパッドサウンドの設定機能に取り込んだサウンドが見えるようになり、そのサウンドを任意のパッドに設定できます。



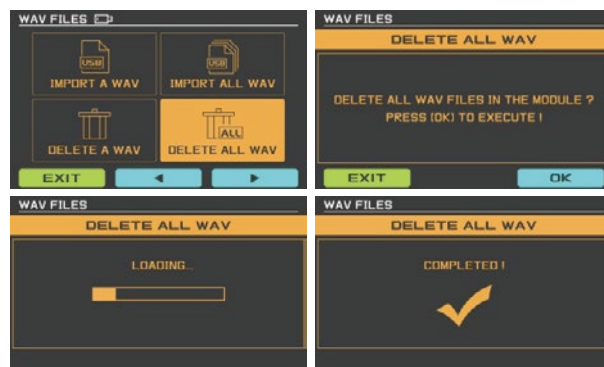
● DELETE A WAV

インポートした WAV ファイルを一つだけモジュールから削除します。▲と▼のキー、もしくは INSTRUMENT ノブで該当する WAV ファイルを選択して、ENTER を押します。



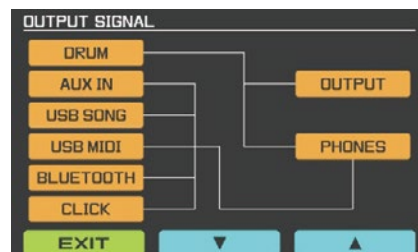
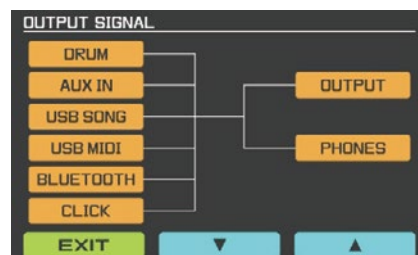
● DELETE ALL WAV

インポートした全ての WAV ファイルをモジュールから一度に削除します。



出力系統

3つの異なる出力系統をお好みによって選択できます。



MIDI ノート情報

*各 PAD に MIDI の設定を割り当てます。

OFF 場合は、MIDI 信号が出力されません。

1.MENU 画面で MIDI NOTE を選択して、ENTER を押してそのモードに入ります。

2.▲と▼のキーを使って、設定したい PAD を選択します。

INSTRUMENT ノブを使って、パラメーターの値を調整します。



パラメーター一覧

パラメーター名	範囲	内容
KICK	OFF, 0~127	Kick MIDI code
SNARE	OFF, 0~127	Snare MIDI code
SNARE RIM	OFF, 0~127	Snare rim MIDI code
SNARE RIM SHOT	OFF, 0~127	Snare rim shot MIDI code
TOM 1	OFF, 0~127	Tom1 MIDI code

TOM 1 RIM	OFF, 0~127	Tom1 rim MIDI code
TOM 2	OFF, 0~127	Tom2 MIDI code
TOM 2 RIM	OFF, 0~127	Tom2 rim MIDI code
TOM 3	OFF, 0~127	Tom3 MIDI code
TOM 3 RIM	OFF, 0~127	Tom3 rim MIDI code
RIDE BOW	OFF, 0~127	Ride bow MIDI code
RIDE EDGE	OFF, 0~127	Ride edge MIDI code
RIDE BELL	OFF, 0~127	Ride bell MIDI code
CRASH 1 BOW	OFF, 0~127	Crash 1 bow MIDI code
CRASH 1 EDGE	OFF, 0~127	Crash 1 edge MIDI code
CRASH 2 BOW	OFF, 0~127	Crash 2 bow MIDI code
CRASH 2 EDGE	OFF, 0~127	Crash 2 edge MIDI code
HH OPEN BOW	OFF, 0~127	HH open bow MIDI code
HH OPEN EDGE	OFF, 0~127	HH open edge MIDI code
HH HALF OPEN BOW	OFF, 0~127	HH half open bow MIDI code
HH HALF OPEN EDGE	OFF, 0~127	HH half open edge MIDI code
HH CLOSE BOW	OFF, 0~127	HH close bow MIDI code
HH CLOSE EDGE	OFF, 0~127	HH close edge MIDI code
HH PEDAL	OFF, 0~127	HH pedal MIDI code
TRIG 1	OFF, 0~127	Trigger 1 MIDI code
TRIG 1 RIM	OFF, 0~127	Trigger 1 rim MIDI code
TRIG 2	OFF, 0~127	Trigger 2 MIDI code
TRIG 2 RIM	OFF, 0~127	Trigger 2 rim MIDI code

FACTORY RESET

1.MENU 画面で FACTORY RESET を選択して、ENTER を押して、そのモードに入ります。

2.▲と▼のキーを使って設定したいパラメーターを選択します。ENTER を押してその設定に入ります。



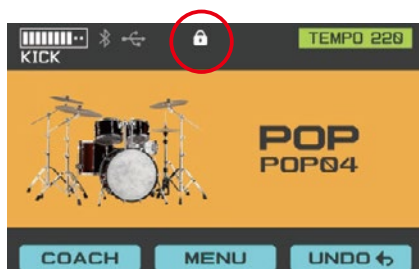
パラメーター名	内容
RESET CURRENT KT	このドラムキットの現在のパラメータを全て工場出荷時の設定に戻す
RESET ALL KT	全てのドラムキットのパラメーターを工場出荷時の設定に戻す
RESET SYSTEM	ソースシステムのバージョン内容を工場出荷時の設定に戻す
RESET ALL	全てのコンテンツ値を工場出荷時の設定に戻す (ワンクリック復元)

OPTION

- 1.MENU 画面で OPTION を選択して ENTER を押して、そのモードに入ります。
- 2.▲と▼のキーを使って設定したいパラメーターを選択します。INSTRUMENT ノブを使って、パラメーターの値を調整します。



- 3.MEMORY LOCK を選択し実行すると、鍵マークがメイン画面に出てきます。この場合、どのパラメーターを調整しても、自動的にセーブされません。



パラメーター一覧

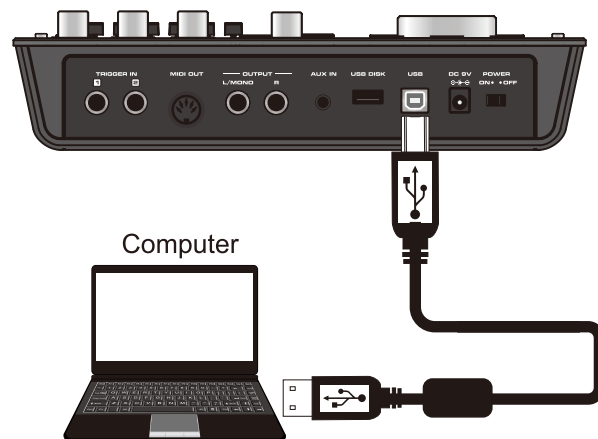
パラメーター名	範囲	内容
BRIGHTNESS	1~10	画面の明るさの調整
MIDI OUT CHANNEL	1~16	MIDI 出力チャンネルの選択
MEMORY LOCK	LOCK/UNLOCK	メモリーロックの選択
BLUETOOTH	BOTH ON/AUDIO ON/MIDI ON	Bluetooth の ON/OFF
SYSTEM INFORMATION		システムバージョン

BLUETOOTH CONNECTION

スマートフォンのBluetooth接続を ON にすると DM-8 series がデバイスリスト上で見つかります。接続すれば、スマートフォンのオーディオを DM-8 上で再生可能です。

USB AUDIO/USB MIDI

- 1.DM-8 と PC を接続するのに USB ケーブルを使います。接続が問題なければ、DM-8 の USB アイコンが点灯します。



- 2.DM-8 のモジュールは、オーディオ /MIDI のレコーディングインターフェイス機能も備えていることから、USB ケーブルで Mac や Windows PC と接続する事により、ステレオのオーディオと MIDI データを直接それらの外部機器に送る事が出来ます。その為、個別にオーディオや MIDI のデータを DAW に送ったり、ソフトウェアのドラムサウンドをトリガーさせるなどして、スタジオでのレコーディングやライブ演奏時にもお使い頂けます。

Note: マルチトラックオーディオで DAW にレコーディングするには、DAW 上のインプットデバイスを "NUX DM-8" に設定する必要があります。

Function		Transmitted	Recognized	Remarked
Basic default		10	1~16	
Channel changed		No	No	
Note		0~127	0~127	
Velocity:	Note on	Yes	Yes	
	Note off	No	Yes	
After key's		No	Yes	
Touch Channel's		No	Yes	
Control change:	0	No	No	Bank select
	1	No	Yes	Modulation
	5	No	Yes	Portamento time
	7	No	Yes	Volume
	10	No	Yes	Pan
	11	No	Yes	Expression
	64	No	Yes	Sustain pedal
	65	No	Yes	Portamento on/off
	66	No	Yes	Sostenuto pedal
	67	No	Yes	Soft pedal
	120	No	Yes	All sound off
	121	No	Yes	Reset all controllers
	123	No	Yes	All note off
Program change		No	Yes	Yes
System exclusive		No	No	No

ディスプレイ：TFT LCD カラースクリーン

トーン：30 セットのセルフサンプリング音色、シングル音色数は約 300

ドラムセット：48 セットのドラムセット（プリセット 30 セット、ユーザー設定 18 セット）

USB：USB AUDIO、USB MIDI、USB フラッシュドライブ

エフェクト：パッド EQ、パッドコンプレッサー、マスター EQ、マスターコンプレッサー、オーバードライブ、リバーブ

コーチ機能：アクセント、タイムチェック、クワイエットカウント、チェンジアップ

オーディオファイルのインポート：インポートは 100wav ファイルまたは 100M まで、サポートフォーマット WAV(.wav 44.1kHz/16bit)

トリガー：TOM*3（デュアルゾーン）、SNARE*1（3 ゾーン、ヘッド、リム、リムショット）、HIHAT*1（デュアルゾーン）、CRASH*2（デュアルゾーン）、RIDE*1（3 ゾーン、ボウ、エッジ、ベル）、KICK*1（シングルゾーン）

インターフェース：電源インターフェース、USB インターフェース、USB DISK インターフェース、AUX IN インターフェース、OUTPUT インターフェース、MIDI OUT インターフェース、TRIGGER IN インターフェース、ヘッドホンインターフェース

電源：DC9V

*技術仕様は予告なく変更する場合があります。

製品保証

保証規定

■万一、保証期間内(お買い上げ1年以内)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げ店を通じ弊社にこの保証書を添えてお申付け下さい

■必要事項が明記されていない場合は保証が実行されない場合がございますのでご注意ください。なお、本書は再発行しませんので大切に保存していただけますようお願い申し上げます。

免責事項について

下記の場合は保証の対象とならず、有償修理となりますのでご注意ください。

- 1) 本保証書がない場合、また、記載内容に不備がある場合
- 2) 取扱説明書に記載された内容以外の原因により不備が発生した場合
- 3) お買い上げ後の使用上の誤り、改造、輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
- 4) 火災、地震、水害、落雷などの想定外の災害などによる故障及び損傷
- 5) 消耗品の交換
- 6) 日本国内以外での使用

- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書につきまして、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

NUX（ニューエックス）輸入販売元 荒井貿易株式会社

<http://www.ariaguitars.com/jp>

〒464-0077 愛知県名古屋市中千種区神田町12-2 荒井貿易株式会社



© 2017 Cherub Technology-All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any form without prior written permission of Cherub Technology.

Made in China

NUX（ニューエックス） nuxaudio.com